

④ 町内の全学校で『認知症サポーター養成講座』開催

『認知症』は誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上になると4人に1人はその症状があると言われており、今後20年で倍増するとも予測されています。

町では、子どもたちにも認知症を知ってもらうため、昨年度から『認知症サポーター養成講座』を小・中学校でもスタートしました。小学5年生、中学2年生を対象に今年度はすでに全学校で開催しました。(中沖小・持留小は5・6年生を対象に実施)

講師役のキャラバン・メイトの方々は「どの学校でも校長先生をはじめ先生方がとても協力的。また子どもたちの真剣なまなざしが印象的で、認知症に対する関心の高さがうかがえた。」と話しました。

児童・生徒は「認知症の方とのふれあいが必要だと思った。」「祖父も認知症だったので、祖父の気持ちがよくわかった。」「亡くなった祖父に当てはまることがいっぱいあった。もっと優しくすればよかった。」と話しました。

★養成講座は、希望に応じて集落、職場、各種団体などでも開催できますので、役場保健福祉課介護福祉係（☎476-1111）までお問い合わせください。



③ 陸上合宿受け入れの気運高まる！有志がボランティア

1月22日（月）から2月1日（木）まで行われた、キヤノンアスリート九州女子陸上部の合宿受け入れに先立って、1月20日（土）、陸上合宿で利用されることも多い国道448号沿い一帯のボランティア清掃が有志により行われました。

参加した斎藤雅之さんは、「陸上合宿が増えることにより、来町者が増えて、にぎやかになってほしいと思います。」と話しました。

